

≪阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業≫ 介護サービス事業所部会【報告書】			
サービス種別	阿南市在宅医療・介護サービス事業所代表者会		
開催日時	令和6年10月30日(水) 9:30~11:00	開催場所	阿南市役所 303号室
代表者	—	報告者	湯浅
議題	①各部会からの報告について ②阿南市在宅医療・介護連携推進事業における4つの場面について ③その他(第2回ケアカフェ(薬剤師会)について)		

議題①	①各部会からの報告について
検討した項目	各部会からの報告について ①グループホーム部会 ②介護老人保健施設、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション部会 ③特別養護老人ホーム部会 ④(看護)小規模多機能型居宅介護部会 ⑤居宅介護支援事業所部会 ⑥養護・軽費老人ホーム部会 ⑦通所介護部会 ⑧訪問介護部会 ⑨お世話センター部会
検討内容	
結論	① ・認知症の方の救急搬送について、受け入れ先が見つからず、搬送に時間がかかることがある。 ・行方不明者発生時の対応・連携について、SOSネットワークに登録しているが、警察や消防からの聞き取り内容が重複しており、負担を感じている。 →SOSネットワークについて、阿南市で新たなツールを検討中。 ・福祉避難所について、収容人数の開示については危機管理課と連携を行う。 ・阿南市のHP活用について、待機者数は掲載しているが、各施設の料金等を掲載することはできないか。 →阿南市のHPに掲載している事業所一覧から外部サイトが見えるように改善する。 ④ ・身寄りのない方の対応について、小規模では三者契約を行っており、保証人がいない例は無い。 ・徳島大学医学生の見学ツアーについて、双葉会の小規模を見学。 ・透析患者が入所できる施設について、小規模より施設入所が困難しているので特養・老健部会及び医療と連携をしていく。 ・看取りへの対応(「もしもの時のために」・「たまたま箱」について勉強会)。 ⑥ 軽費老人ホーム3施設、養護2施設で日頃の業務の悩みを共有して解決を行った。 互いの施設見学を行うことも決定。 ⑦ 今年度から部会を再開し、阿南消防より講師を招き、緊急時の対応について研修会を実施。その後、通所部会の運営目的等の共通認識を行った。 ⑧ 今年度より部会開催。6項目について協議し。また、総合事業の従事者研修者必要研修について介護保険課と協議を行った。 ⑨ 一人暮らしの高齢者対応について、入院等で病院からおむつ1箱を持ってきてほしい等の連絡があり、負担を感じている。身寄り(親族等)の情報については主任ケアマネと連携し、業務効率化も図る。
残された課題	①福祉避難所の収容人数公表について ⑨身寄りのない方の情報共有について(ケアマネと主任ケアマネの連携)
備考	・②③⑤については年内に1回、年明けに1回開催予定。 ・部会立ち上げ時に決定した通り、各部会の部会長任期は原則1年で2年することも可能。

議題②		阿南市在宅医療・介護連携推進事業における4つの場面について
検討した項目	阿南市在宅医療・介護連携推進事業における4つの場面について	
検討内容	医療と介護が主に共通する4つの場面(日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取り)を意識して取り組む必要があり、まず、場面ごとに阿南市が「目指すべき姿」の設定について、各部会で検討する。	
結論	・各部会で目指すべき姿について協議 →市が4つの場面ごとに目指すべき姿(案)を作成。各部会で提案等あれば提出。 ・目指すべき姿を踏まえ、各職種の立場での現状や問題点を抽出する。 ・抽出された課題から今後の施策への反映を目指す。	
残された課題	医療職が活用しているシステムがあり、ケアマネジャーやヘルパーにも活用してほしいと思っているが、周知が届いておらず、介護職側はシステムのことを知らない。 →医療職と介護職間で情報共有ができる仕組みづくりが必要	
備考	・年度内に全てのサービス事業所部会で4つの場面について議論・検討したことを次回代表者会で報告。	

議題③		④その他
検討した項目	①第2回ケアカフェについて ②その他 (1) 南部総合県民局保健福祉環境部との連携研修会について (2) 徳島大学医学生施設見学について	
検討内容	①第2回ケアカフェ開催内容及び参加状況 ②(1)南部総合県民局保健福祉環境部との連携研修会の内容及び協力施設について (2)徳島大学医学生が見学を行う施設・スケジュールについて	
結論	①第2回ケアカフェは薬剤師会より講師を招き、薬剤師会との連携研修会を行う。 参加者は50名で医療従事者・福祉従事者が約25人ずつから参加申し込みを受けている。 ②(1)南部総合県民局保健福祉環境部との連携研修会について、施設での看取りの事例の発表依頼あり。特別養護老人ホーム・グループホームから各1施設を選出。 決まれば各部長から在宅医療・介護連携支援センターへ報告する。 (2)11月6日に徳島大学医学生が福祉事業所を見学。午前に「らいず(通所介護)」, 午後は「双葉会」の施設等を見学する。 来年度も開催予定のため、見学受入を希望する事業所があれば在宅医療・介護連携支援センターへ報告する。	
残された課題		
備考		

【会議風景写真】

